

グループホーム フェニックス苑

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		庭での活動、公園への散歩により地域の方達とあいさつを交わすことから交流を図っていきたい
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		日々の業務で笑顔と尊敬、尊厳、安全の理念を共有し実践している
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		フェニックス苑だよりによる広報に努めている
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		当苑のすぐ前に公園がありゲートボールの練習時に見学交流したいと検討中である
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		当地域内での最大の行事である大蛇まつりで見学参加できた 一つずつでも参加の場を作って行きたい

グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	現在の所取り組みの予定なく出来ていない		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員で自己評価に取り組み、評価の意義や理解に努めている。外部評価の結果は、ミーティングや家族会に報告し改善を図っている。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では当苑の現状報告を今後の課題を検討し、各委員の建設的な意見をサービス向上に活かしている		運営推進会、外部からの助言や意見を傾聴、運営に活かすよう取り組んでいきたい
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	あんしん介護相談員との意見交換会、サービス事業者会議、認知症ケア研究会を通し情報交換を行っている。今後は社会資源の窓口、連絡相談の窓口として連携を図って行きたいと考えている。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護全般に関して、外部や内部研修会で職員の意識向上に努めている。法人に関る、弁護士が年一回グループホームを訪問し、家族の相談に対応できる体制がある		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	テレビ、新聞等で虐待の事例が出た時、カンファレンスで取り上げ全員で考え適切な介護を行うよう注意を払っている		日常の介護の中で職員同士で虐待の事例にあたらぬか常に防止の姿勢を持ち続けるよう取り組んでいる

グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に入居者、家族へ十分な説明を行い、理解、納得された事を確認し同意を得ている</p>		<p>契約時の内容に関する事で疑問点や相談に応じている</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者の意見不満を言いやすい雰囲気づくりと家族面会時に何か言いたい事、気付かれた事を聞くようにしている</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>2ヶ月に一度「フェニックス苑だより 日常や行事の写真同封」 家族会の報告で近況の報告を行っている。定期的には、入居者の暮らしぶりや健康状態は面会時に又、必要に応じて電話報告も行っている。</p>		<p>フェニックス苑だよりに各家族宛に写真を貼付している</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱の設置(玄関) 二月に一度の家族会からの意見交換をもとに改善に努め、運営面の充実を図るようにしている</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎朝のカンファレンスの時や連絡ノートに意見や提案を述べてもらい、皆で検討し建設的な意見は運営に反映させている</p>		<p>事業所全体の会議においても積極的に意見の交換を行い運営に反映している</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>変化、要望に対応できるだけの勤務調整を可能</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>今年九月より常勤体制となり職員の移動はなくなったが離職者はみられる。移動がなくなった事で、馴染みの関係が出来職員員の支援も充実してきた。</p>		<p>常勤体制となり利用者と馴染の関係が出来てきた。又、受持制度を導入してよりよい支援を行って行きたい</p>

グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。</p>	<p>職員の採用に関しては、資格者を優先しているが特に年齢や性別などの条件は規定していない。職員は経験や実績などを考慮し、個人の持つ能力が発揮できるよう配慮している</p>		
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>	<p>毎月一回第四金曜日に法人グループ全体で研修会の中で取り組んでいる</p>		<p>研修内容 「プライバシーの保護と取り扱いについて」「身体拘束について」「人的環境と住居環境を考える」等取り組んでいる</p>
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部研修や外部研修に積極的に参加している。毎月伝達研修などを行い、研修内容が業務に活かせるよう、職員全体の意識向上に努めている。</p>		<p>研修は毎朝のカンファレンスの中で取り上げ研修内容の徹底に取り組んでいる</p>
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>サービス事業者協議会、認知症ケア研究会に加入し研修の機会を通じて同業者とも情報交換を行い、サービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>勤務時間内の職員の言動、体調等の観察を十分に行う。又、常に意見を聞く態度で接するよう心がけている</p>		<p>相談や心配がある事に傾聴して頂いている</p>

グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	毎月自己啓発票の提出を促し、努力の成果、反省、疑問点、要望、検討事項などを個人毎に把握し改善、改消に向けて取り組んでいる		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所前に必ず事前面談を行い、ご本人の話を傾聴し、生活状況・状態の把握に努めている。また少しでも入居当初の不安混乱を緩和する為、馴染の関係を築けるよう心がけている。		常に会話をもつことに心がけています。その事により心を開いてもらえる様努力している。
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族会や面会・お便り等で家族との交流の場を持つ事により、生活の状態を知って頂いています。又、家族の方の相談や要望にこたえる様努力していきます。		入居後、不安や要望等ある場合は尋ねる。又、声かけていただく様常にお願ひしている。
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用申し込みや相談を受けた時に、現在の本人さんご家族の状況等をお聞きする。その時点で何が必要なのかを見極め他のサービスが良い場合は相談に乗り、紹介する様にしている。		家族での問題点等を伺い、当事業所として出来る限りのサポートをさせて頂く事を表明する
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人やご家族に見学に来ていただき、少しでも職員や他の利用者と馴染める様にしている。入居された時は、ご家族やこれまで関わって来られた方来ていただいたり、電話で話をさせていただく。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者様の困っている時や落ち着きのない時は、ゆっくりと話を聞く様心がけています。又、回想法により子供の頃の話、家族の話、体験談等聞かせて頂き私達も勉強にもなりますし、入居者様の笑顔も見れます。		

グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	お便り、電話、面会を通じて、日々の生活状態を報告しております。その際、ご家族の意見や希望をお聞きし、本人希望に近づく様心がけております。		ご家族とよりコミュニケーションを図りご家族と一緒に本人を支えていきたい
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居後は、気楽に面会に来て頂ける雰囲気作りを心掛けています。又、ご家族と外出・外泊等楽しいひと時を持って頂きたいと支援しています。		症状の進行や変化がみられ、どのような時期であっても、家族とよりよい関係がもてるよう支援していきたい。
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族、友人、知人の面会は歓迎しています。ご本人の希望があれば家族に報告、相談し本人さんの想いに応える様支援しています。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	テーブル、ソファ等位置等、その時の心身の状況を把握し、席を変えてみたり、職員が間に入り利用者同士が助け合いよい関係が出来る様努めています。		ホール内にて自由に意見をいえる雰囲気作り。又発言を促している。
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居後も情報交換を行い、いつでも立ち寄って頂ける様声掛けをしています。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人や家族より生活歴や住宅での生活の様子と意向現在の心身の状況を把握し日々の生活の中で変化があれば、その都度職員間で話し合って対応している。		処遇困難なケースは家族や職員間で検討し、当苑の職員体制と住環境を勘案して対応していきたい。

グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時や家族の面会時や電話等で在宅での生活の様子、生活歴、性格又在宅サービス医療面を聞きながら処遇している。		家族に本人の苑での生活の様子や体調面等を報告したり、相談して処遇の質の向上をはかっている
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎月の状況(体調面、精神面)変化を早く察知しその情報を職員間で共有し処遇に当たる。 チームケアの充実		心身の状況の変化を申し送りノートに記録、又個人の介護日誌の記録で職員で情報の共有し対応している
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人が本人らしく苑での生活が送れるよう、本人家族の意向を聞きながら職員間の意見を参考にして、当苑の状況を考慮し計画を立てる。		センター方式を取り入れて介護計画を立てるのが一番ベストと思われるが現状ではまだその体制にはなっていないが、今後の検討課題。
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	体調面、精神面での日々の生活の中での変化を把握し、介護計画を変更する必要がある場合又、変更した場合家族会等で説明する。		介護計画書を家族へ渡す時点で内容について、十分な説明が出来る家族と出来ない家族があり今後の対応を考慮している。
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の様子(健康面、精神面)を個人の台帳に記録し特記事項があれば申し送りノートに記載したり、昼食時に職員間の情報の共有。		介護の実践はすぐに取り掛かる必要があるが、介護計画書への反映が遅れるので解消していきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	運営が医療法人で理事長が内科医である。連絡、毎日の往診により健康面は把握されている。デイサービスの行事に参加する事が出来るし、又参加されている。花の里祭りでは、家族も一緒に楽しんでいる。地域の方との交流もある。		市や地域の行事・季節を楽しんで頂きたいので、花見等一緒に行くようにしている。

グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	日は決まっていないが必要に応じて民生委員との話し合い、又警察とは連絡を密にしている。又消防署の方も連絡は行っている。		地域のリサイクル資源などに出せるよう取り組んでいければ地域との交流を密にする。
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在では地域のサービス業者との話し合い等が余りないと思う。		他のケアマネジャーさんとのサービス業者との連携を図り活用出来るよう話し合いの場を作りたい。
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在の利用者、寝たきりの方が半数の方いらっしゃる為、職員は苑内介護に追われ地域活動、参加、交流に至っていません。		地域包括支援センターとの連携を図り協力出来るよう取り組みたいと検討致しています。
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者方々の受診等必要に応じてかかりつけ医又はクリニックの先生に見て頂いております。歯科は往診して見て頂いております。定期的に血液検査もあります。クリニック(法人母体)です。		毎日毎日のバイタルチェックその度々の報告、精神面等(母体クリニック)にて行っています。
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症専門医等の受診はありませんが、クリニック先生にて受診をして頂いております。		出来る事なら認知症専門医等に受診して頂きながら診断、治療が出来ればと思っています。
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師でもある管理者やクリニックの看護師が業務につき日常の健康保持、観察に努めている。		現在の看護師との協力を今後も維持していきたいと思う。

グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者の入院時にはその病院に利用者の容態などを随時聞き、病状を把握し、安心して退院出来るように又、退院後の受け入れ準備をしている。		家族、入院先との連絡を密にし退院に向けての準備をする(心身の状態の把握等)
49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化、終末期において本人及び、家族の意向希望を確認し医師からの説明、同意を行い全スタッフに周知させている。		身体的な苦痛、精神的な苦痛の緩和を図る事が出来るようスタッフ全員の知識の向上。
50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化、終末期のあり方については契約者医療機関との連携の中で職員と対応について協議し、医療担当者の助言を求めて家族の希望を受け入れる方向である。		重度化した場合や終末期に向けては早い段階にて家族、かかりつけ医などケア関係者と話し合い、医療処置対応書類等を設備していくことに取り組んでいく事が望ましいと思います
51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	退居時は家族の相談に応じ、転入先の関係者との情報交換を密に行いケアに役立てて頂くよう努めている。		
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
52	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者ひとりひとりの人格尊重を第一とし、人格を損ねる言動には十分配慮し個人情報保護厳守している。		利用者個人個人。性格と習慣を把握する。

グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	色々なこと、日常生活している中で利用者に分かりやすいように説明して希望、要望を受けたまわり同時に聞き解決の方向に進んでいる。		利用者自ら進んで掃除、食器洗い、洗濯物たたみ等日常な事をして頂いており職員は感謝な気持ちを伝えている。
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事、入浴、散歩、個別活動などで入居者の体調、気分に合わせて重度化に応じた支援に取り組んでいる。		入所者の介護度に応じた個別的な支援が望まれる。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	利用者のご家族と外出された時、美容院に同行される。		本人希望により美容師にてヘアスタイルに望まれる。
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員が調理に関わる時間が取りにくく、食事は厨房で作ったものを利用している。無理のない範囲で準備、片付けの声掛けをしている。		利用者全員が同じホール内で食事するように心掛けています。介助の方は、誤嚥に注意しながら楽しく食事してもらっています。
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	毎日、利用者の体調の状況に合わせ、朝の水分補給、おやつを楽しんで頂くように支援している。		朝の水分補給のミルクコーヒー、飲み物、おやつに手作りおやつを利用者の健全で体調に合わせて一緒に職員と取り組んでいる。
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	自分で排泄が出来る方は出来るだけ実行させて、介助が必要な方は様子をみながら排泄の方を支援している。		自分で出来る方は、利用する紙の扱い方をもう少し取り組みたいです。

グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は日曜日以外毎日のように、体調に応じて、入浴できるようにしている。又入浴拒否される入所者の方は無理にせず本人の状況を見ながらタイミングをはかり入浴を促している。		利用者の体調を重点にして気持ち良く楽しんで入浴してもらう。
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	1日1日生活習慣で毎日の状況に応じて安心して穏やかな気持ちでゆっくりと休息して、眠れる事を支援している。		利用者の各部屋でゆっくりと部屋の室温を気配り、安心して眠っていただくよう取り組んでいる。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	アセスメントを元にして台所手伝いや洗濯物たたみや手足運動(ジャンケンゲーム・軽体操)入所者が好きな事を自由に楽しんで支援している。		利用者の体調に合わせて自分の好きなこと興味を持っている事、日常生活の事、職員を楽しく台所手伝い洗濯物たたみ、折り紙遊びなど気晴らしが出来る事をしている。
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入所者のご家族の方が所持されている方は、本人に大切さを理解してもらい、他以外の方はお金の所持はないようです。		入居者の所持金等のご家族と本人のご理解の上職員の方で一時預かりたいですがもし必要とすればご家族持参してもらいたい事にはしたいです。入居の時は必要ではないだろうか。
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	戸外に出かけるのを日課にしている入所者もおられ庭での草花の水やり草取りなど無理のないように楽しんで頂くよう支援している。		介護度に応じての個別的な外出園庭での手入れを楽しんで過ごされている。
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	事業所内サービスセンターでの毎月一度の誕生会へ参加と年に一度の収穫祭への参加を行っている。又、菊展を見物したりもっている。		近所の公園へ天気の良い日を選びお弁当持参花見に出かけたり、収穫祭の時家族と一緒に参加しバザー、食事等を楽しんで頂きたい。

グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を希望される際はダイヤル本人さんと代わり電話していただいている。本人直接ダイヤル回されるときは見守っている。		本人さん宛ての郵便物は直接本人さん渡すとともに正月には直筆の年賀状を作成しようと思います。
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも面会を受け入れホール、居室等でお茶を飲みながらくつろいで頂けるようにしています。		
(4)安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は本人さんの肉体的精神的にも苦痛です。拘束しないケアに取り組んでいます。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は日中施錠せず自由に出入り出来るようにし介護者が気がける。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	24時間入居者に応じて対応する。つねに見守り、声掛け行う。夜間は常に気付き巡回する。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	毎日介護者が把握し同じ場所に整理、整頓する。居宅で過ごされる時いつも気がけ物音、足音でも入室する。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	居室の整理整頓を心掛け足元の安全を確保する。事故防止の為の事例も検討し学んでいる。万が一の事態に備えマニュアルを作成して置く。		事故発生時の対応マニュアルを介護者で検討の上作成。

グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	一人一人の身体的な把握を頭の中に入れ緊急時備え勉強し訓練を定期的に行う。個人に対してマニュアル作成する。		利用者の急変や事故発生を提案した訓練を行い、慌てないで行動できるよう準備を整えたい。
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	介護者が常に頭にのみ込み場所によって避難場所が違います。経路必ず覚え込む。外部に一秒でも早く知らせる事。		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	面会時に変わった事、あった場合記録する。抑圧感ない介護する。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	介護者しっかりと申し送り、個人のバイタルを目を通す事。こまめに気配り目配りをする。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人が与薬する。くすりの内容を把握しておく事。少しでも内容が違う時は、看護師に尋ねる。		個人毎の病歴を知り、内服している薬の効果や副作用、用量等を確実に把握しておきたい。
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便表作成。 三日目にその人に合った処方して頂き、施行最後まで便量等記録する。変わった時は、看護師に報告し申し送る。		

グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケア施行。 介助の方は義歯をはずして、スタッフが義歯を洗っている。		毎食後、口腔ケアをする事によって、口の中が清潔に保たれている。
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お茶、白湯などテーブルの上に置き、入居者の方いつで飲める様にしている。食事の摂取量も毎食確認している。		入居者の方には、刻み食、ミキサー食にしている。誤嚥防止などに取り組んでいる。
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	スタッフ一同マニュアルを熟知してもらい消毒等をしている。入居者の感染防止を心がけている。		うがい、手洗い施行している。必要に応じ、マスクなど使っている。
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具等は、食器乾燥を行い食器の保管場所、冷蔵庫、食器棚等常に清潔に保って掃除を行っている。必要量の買物をし、長期保存をしないように努めている。		手洗いうがいをまめに行い、清潔な状態で食品の安全な取り扱いをしている。購入時に、消費・賞味期限をチェックしている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	門扉がなく自由に出入りが出来る。庭には四季の花など植えている。		近隣の人等とボランティアで草取りなどに出席している。
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、食堂、トイレなど飾りつけなど通常、家庭で使用している物を置いている。		入居者の皆さんが集うホールがあり、テレビなど観られたりレクリエーションを行う場所になっている。

グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファ、カーペットを使用し個々思い思いに気軽におしゃべりの場、休息の場を使い分けをしている。(寝転んでテレビを観られる等)		午前中には日当たり良いカーペットで皆さん休まれることが多く、常に清潔に保つように心掛けている。
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各部屋は、安全性を重視しながらも入居者の使い易いように家具を配置している。又、馴染みの日用品等を手元に配置している。		使い勝手の良いテーブルの位置は、それぞれ違い個々の好みで使用して頂いている。雑誌を就寝前に読まれる等、居室でも気軽に過ごして頂いている。
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	四季に応じて個々の体調を考慮し換気、室内の温度調節をこまめに行っている。		エアコン、ファンヒーター、ハロゲンヒーター使用。外気温に応じ調整している。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	脚力強化、又転倒防止、安全歩行等の為に手すりを設置している。又、個々の身体状況に合わせ、ベットサイドにテーブルを設置している。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各部屋に名札をかけたたり、トイレへは矢印でさりげない誘導に心がけている。		トイレの場所の方向を違われた場所等、その度誘導する。
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭先には、花、草、木を植えてあり水遣り、草取り、花を摘んだり楽しめる。		二階の居室の入居者、晴天の折にベランダへ出て日光浴をされる。

グループホーム フェニックス苑

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

グループホーム フェニックス苑

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・ 木造建築で家庭的環境、雰囲気の中でゆったりした日常生活を送って頂く。
- ・ 個人個人の残存機能の保持、趣味、特技を主とする。その人らしい生き方をして頂く。
- ・ 年長者として敬いの心を持って介護を行う。
- ・ 医療連携を取ることにより、健康管理を十分に行っている。
- ・ 季節感のある行事や庭の作業でメリハリのある暮らしをして頂く。